

出向く宮農レポート

～更なるレベルアップを目指して～



南部宮農センター
山口 堇

令和4年度にアグリスクール中級を卒業した田中則子さんの圃場を訪問しました。圃場ではニンジンやジャガイモ、キャベツなど複数の野菜が栽培されており、学校給食や豊明西部産直センターなどの管内の産直施設に出荷をいただいています。

中でも目を引いたのはカボチャで、バターナッツやプッチーニなど珍しいカボチャを7品種も栽培しており、スクール卒業後も意欲的に取り組んでいただいています。圃場で気になったのが、『ウリハムシ』による食害です。ウリ科植物の栽培では注意が必要で、成虫に食害されると、葉は不規則な半円形～円形の特徴的な食害痕を残します。また成虫の発生量が多いと株体が食害され、枯死してしまうこともあります。今回は対策として、マラソン乳剤やモスピラン顆粒水溶剤で防除していただくよう案内しました。今後も病害虫の発生に注意しつつ、継続して訪問し、栽培指導・情報収集・情報提供を行います。

カボチャのウリハムシに登録のある農薬紹介

マラソン乳剤

- 希釈倍数:1000倍
- 使用液量:100～300ℓ/10a
- 使用時期:収穫前日まで
- マラソンを含む農薬の総使用回数:5回以内



モスピラン顆粒水溶剤

- 希釈倍数:2000～4000倍
- 使用液量:100～300ℓ/10a
- 使用時期:収穫前日まで
- アセタミプリドを含む農薬の総使用回数:3回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)



※使用に際しては製品ラベルの記載内容に従ってご使用ください。

田中さんにインタビューしてみました!!

Q アグリスクールに参加してみてどうでしたか

A 中級編では出荷するにあたって、袋の詰め方やシールの貼り方など、一から売り方を教えてくれるので、助かりました。また、栽培するうえで何か困ったことがあった時、営農担当者の方にすぐ相談できるのでアグリスクールに参加して良かったです。

Q 実際に産直出荷してみてどうでしたか

A 買ってくれた方が「おいしいよ」と言ってくれてとても嬉しかったです。頑張ったら頑張った分だけ売り上げとして目に見えるので、モチベーションに繋がります。

Q これからの目標はありますか

A 畑を増やしてもっとたくさん野菜を栽培していきたいです。また、サツマイモでスイートポテトを作ったり、にんじんを使ったケーキなど加工品の販売をしてみたいです。

